

新千歳空港について

1. 除雪体制のさらなる強化について

① 滑走路・誘導路の降雪等への対応

冬期における除雪能力は年々向上しているが、大規模なイレギュラーは依然として発生している。引き続き、除雪能力の向上、計画的な除雪の実施、除雪終了時間の精度向上に向けた取り組み等を実施し、全般的な除雪精度の向上に努めることを要請する。【継続】

② 車両走行時の安全性強化に向けた、エリア改修もしくは適切な除雪の実施について

冬期において、旅客や貨物搬送で頻繁に使用するC-GSE通路や0～3番スポット前におけるターミナルGSE通路を中心に、路面凍結のため車両のスリップや、脱輪が発生している。また、C-GSEエリアの勾配と凍結により、車両走行時は注意が必要である。C-GSEエリアの勾配改善や除雪を強化し、安心して通行できる状態を維持することを要請する。【継続】

2. ランプ内における課題について

① GSE(地上支援器材)通路全般の改善について

夜間や雨天時に、GSE通行線が見えにくくなっている場所があることから、通行線の継続的な再塗装ととも運航乗務員に影響を及ぼさない範囲で通路全体を照射できる照明施設を設置

＜夜間・雨天時に見えにくいGSE通路＞



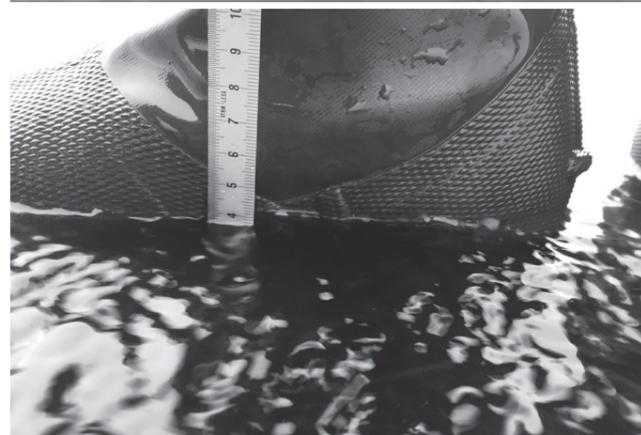
するなど、さらなる改善を要請する。また、車両通行帯の舗装箇所の段差により、貨物運搬時に大きな揺れが生じ危険を感じるため、路面の点検ならびに改修を要請する。【継続】

② 空港敷地内への不法侵入対策の強化について

過去、鹿の侵入やドローンの検知により2本の滑走路が閉鎖する事象が発生している。動物侵入の追加対策も行われているが、航空機との衝突など、安全性を損なう事象に繋がりがねない。また、鳥の衝突による運航便への影響も出ている。空港セキュリティの強化とさらなる対策を要請する。【内容変更】

③ 誘導路およびスポットエリアの補修

長年使用してきた誘導路やスポットではくぼみが生じ、雨天時に大きな水たまりが恒常的に発生している。働くものが水に足を取られることに加えて、冬期には防除雪氷液によって滑りやすい状態にあり危険である。また、航空機の不具合にもつながる8、9番スポット、12～14番スポットの前を中心とした全体的な点検と補修を要請する。



3. PBB(旅客搭乗橋)の安全対策について

① PBBステップの滑り止め対策について

冬期においては機側作業員(清掃・グラハン・整備)や運航乗務員が積雪・凍結したステップで滑る事例が報告されており、受傷も発生している。すべてのPBBにおいて改善を要請する。【継続】

② 国内線PBB内の凍結防止について

国内線PBBは暖房設備がない為、冬期において路面が凍結することもあり、お客様が転倒する事象も発生している。凍結を防止するためのマットの設置など、更なる対策を講じることを要請する。【継続】

4. 空港関連施設について

① ターミナルのユニバーサルデザインについて

空港内の案内表示が分かりづらく、お客様が迷っている状況も見受けられることや、エレベーターやエスカレーターがなく、不便な場所がある。到着動線と出発動線の分離や、分かりやすい案内板の設置、両方向のエスカレーターの設置、さらなるバリアフリーの推進など、お客様、従業員の負担軽減に向けて多様な観点からの検討を要請する。

＜写真上：従業員不在時、使用できないエレベーターと、写真下：片側みみのエスカレーター＞



② 国際線ターミナルの機能強化について

国際線エリアの改修はほぼ完了していると認識しているが、手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQに関する設備の設置場所は利便性が悪く、運航便が重複している時間帯では使用が制限され、十分に活用できていないと言えない。手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQなど今後の需要回復を考慮したうえで処理能力向上に向けた改修を要請する。【内容変更】

③ 修学旅行生の待機スペースの確保について

修学旅行のお客様も増加傾向にあるが、定められた集合場所やスペースもなく、問い合わせを受けてもお答えできない状況にある。空港内の利便性や混雑緩和のためにも修学旅行生用集合スペースの設置など、改善を要請する。【継続】

④ 宣材物の設置について

空港利用者増への寄与や、お客様への情報提供の観点から搭

乗口や到着ロビーに宣材物を設置している空港が複数ある。新千歳空港の今後の更なる発展のためにも宣材物が設置できるよう検討を要請する。【新規】

⑤ 新千歳空港のPFC(旅客施設使用料)導入について

受益と負担の関係から空港利用者にとって有用に活用されているか、適宜検証することを要請する。【新規】

5. イレギュラー時の対応について

① 空港の混雑緩和に向けた他機関との連携について

大雪などのイレギュラー時、お客様が空港へ流入し空港内が混雑している状況が発生している。鉄道会社などの公共交通機関と連携し、デジタルサイネージの有効活用によりお客様に的確な情報発信を行うなどの対策を他機関と協力して実施することを要請する。【継続】

② 空港開放時の対応について

イレギュラーや災害発生時にお客様に安心して空港で過ごしていただけるよう充電器や食料の配布、代替移動手段の確実な情報提供など、更なる対応を検討することを要請する。【継続】

③ 災害時の体制・連携強化について

災害などの非常事態発生時には、従業員が避難経路を把握するとともに適切な対処方法を十分に理解することが重要である。現在も避難訓練は実施されているが、十分なものとは言えない。災害時の体制・連携を強化すること、並びにお客様や従業員の命を守るためにも、引き続き空港運営会社として積極的な取り組みを要請する。【内容変更】

観光政策について

1. 新千歳空港へのアクセス向上について

① 新千歳空港と札幌近郊地域における公共交通機関のアクセス向上について

札幌近郊地域と新千歳空港間の公共交通機関相互の利便性向上を図るべく、早朝および夜間帯における公共交通機関のダイヤ設定の改善やバスの利用促進、公共交通機関における多言語サービスの拡張など、ご利用のお客様がストレスなくアクセス出来るよう、各関係機関への働きかけを要請する。【継続】

② 新千歳空港駐車場の混雑緩和について

駐車場の増設により、駐車可能台数が飛躍的に増加し、一定程度の利便性の向上が図られているが、一方で未だ繁忙期には入場待ちの長蛇の列となり、バスやタクシーなどの公共交通機関の遅延原因となっている。また、お客様の搭乗予定便への乗り遅れが発生しているだけでなく空港従業員の通勤にも影響している。駐車場へのスムーズな入場に向けた動線の確保や、看板の設置、通行レーンの色分けや車線の明示を実施するなど、引き続き関係各所への力強い働きかけを要請する。【内容変更】

航空 連合 成田

1. 空港施設・設備

ターミナル内

① ターミナル内の案内表示について

国際線の到着エリア内は、目印となる案内が見つけにくいいため、到着口を出てすぐに目に入る正面の柱やその周辺にターミナル全体の地図が設置されていると、現在地を含めターミナル全体を把握でき、目的地に円滑に向かうことができるため、案内標示の工夫を要請する。【新規】

利用者目線で第2ターミナル内の場所案内の標示が分かりにくいので、誰でもわかりやすいものとなるように下記のような床への明示を要請する。【新規】



② ゲートエリア大型エレベーターの設置について

外国人旅客の増加に伴い、車いす利用者が増えているが、ゲートエリアのエレベーターについては現在も小型機が多いため、空港勤務者が車いす利用者の対応をする際に何往復もしなければいけない状況である。成田空港のエレベーター改修工事でも一度は完了しているものの、今後車いす利用者の増加が見込まれるため、複数台車いすが入るような大型エレベーターの設置を引き続き求める。【継続】



③ 手荷物引き渡し場の到着手荷物の表示について

国際線到着手荷物の表示時間が短く、旅客が預け入れ手荷物をピックアップしようとする頃には表示が消えてしまうため、手荷物返却が終了した後も到着した便の手荷物の保管場所がわかるよう対策を求める。【継続】

ランプ内

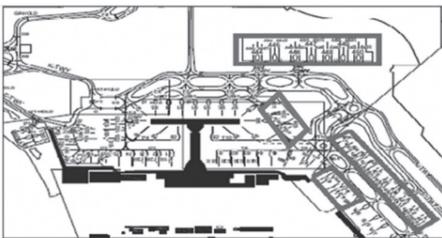
① ランプ内車両走行帯の線の視認性改善について

ランプ内の工事などで車両通行帯が変更されている箇所がある。古い車両通行帯の線が黒く上塗りされている箇所があり、雨の日や夜間等、新しい車両通行帯の線と判別しにくい箇所がある。空港内全てのランプ内の車両通行帯の視認性向上を要請する。【継続】



② スポット(駐機場)番号のエリア統一について

現在、成田空港の更なる強化の取り組みとして新設スポットの運用が開始されているが、400番台のオープンスポット(枠部分)は空港の広範囲に設定されている。地域により分けがされているが、作業中にスポットを間違える危険性がある。長期的な視点として、成田空港の更なる強化の取り組みと同時にスポット番号をエリアで統一することを要請する。【新規】



③ ランプ内照明について

夜間ランプ内の照明が暗く作業の安全性に影響している事例があるため、ランプ内の照明照度を上げることを要請する。加えて、ノイズリダクションハンガー(NRH)周辺の小型機が駐機するエリアにおいて、照明が不足しており小型機が見えにくいいため、照明の追加設置を要請する。【新規】

その他

① 空港周辺の宿泊施設について

格安航空会社(LCC)の就航が増えており、現状では空港内のソファに宿泊している利用者が多くいる。飛行機が遅延した際の選択肢の拡充にもつながるため、空港敷地内か空港周辺に安価な宿泊施設の受け入れを求める。【新規】

② 空港内託児所施設について

第2ターミナルにある保育ルーム「たんぼぼ」が増床されたが満員状態が継続している。限りある年次有給休暇を駆使しているケースや仕事と育児の両立が叶わず離職しているケースもあり、空港勤務者に対し子供を安心して預けられる環境となる空港内託児所等の増設を求める。今後の成田空港の機能維持やさらなる発展を見据えた際に、労働力人口の減少に対する人材の確保や仕事と育児の両立支援という観点でも環境整備が必要である。【継続】

2. 空港アクセス・交通

鉄道

① 京成成田駅のエスカレーター、エレベーターについて

駅の改札を出た国道51号線に向かう地下道路のエスカレーターとエレベーターの運行時間を終電まで稼働させることを求める。駅周辺にホテルも増設しており、大荷物を持った観光客も増えてきているため、利用者の利便性を考慮し、エスカレーターとエレベーターの運用時間延長を求める。【新規】



② 鉄道の運行本数について

空港運用時間の延長に伴い、既に鉄道の時間は変更されているが、今後も各航空会社の運航時間の変更により利用者、空港勤務者の増加が見込まれる。引き続き各公共交通機関と連携し、成田空港拡張に対応できる運行時間の変更や増便の検討を要望する。【継続】

③ 芝山千代田駅の施設について

駅構内でのICカードによる乗り越しの清算処理を実施できるよう施設整備を求める。ホームページには利用可能な旨を掲載しているものの、利用者が空港行きと間違えて乗車することもあり、利便性向上のためにも、PASMO・SUICAなどのICカードの処理連絡票を渡すだけでなく、駅構内での処理可能な環境を要望する。【新規】

駐車場

① 駐車場の30分無料化について

減便前、各ターミナルの送迎エリアの混雑が激しく、歩道横の停車車両が横に2列になっている状況も散見され、乗降する人の安全性に影響を及ぼしていた。

将来的に成田空港周辺駐車場について入庫後30分程度の無料化を要望する。駐車場を荷物の積み下ろし場所として利用することにより、送迎エリアの混雑緩和につながる。また、羽田空港周辺の主要な駐車場(P1~P4)は既に30分無料となっているため、空港間の競争力強化の観点からも無料時間の設定を求める。【新規】

道路

① 大雨時の冠水対策について

台風などの大雨時、冠水により道路が遮断されて空港が孤立する事態が発生している。“木の根トンネル”の排水設備を整えるなど、空港周辺道路の冠水対策を求める。また、恒久的な対策ができるまでの代替案として、空港内“木の根トンネル”が通行不可となった場合は、一時的に誘導路を通行できるなどの仕組みを要望する。【新規】

② 空港周辺道路の渋滞緩和による通勤時間の短縮

国道408号線の土屋交差点(イオンモール前)で渋滞が発生している。出勤時の美郷台からの右折する空港方面と、退勤時の空港から土屋交差点方面の信号のタイミング変更、またはバイパスルートの設定を求める。【新規】



③ 降雪時の道路除雪について

降雪時には滑走路や誘導路から優先的に除雪が行われることは理解できるが、空港勤務者が降雪により出勤できなければ航空機発着業務が開始できない。空港勤務者が通る空港内の道路(駐車場までの道路)も可能な限り速やかに除雪するよう要望する。【新規】

3. 空港の運用

① 悪天候時における退避基準について

既に警報は出されているものの、ハンドリング会社によって退避基準が異なる場合があることから、各社に適應する統一した退避基準を求める。

航空局からは、退避基準を全国一律にすることは、空港が設置されている地形や気象、規模など環境が異なり難しいとの見解が示されている。悪天候時の屋外での作業は人命にも関わり、安心・安全に働くことができる環境を作る観点から、一律の退避基準を設定することに関して、まずは改善に向けて各航空会社と連携を図りながら検討することを要望する。【内容変更】

② 512番のスポットについて

512番スポットにおいて、エンジン試運転以外の整備作業も実施できるよう運用の変更を求める。【新規】

航空連合 東京

1. 航空局東京空港事務所

① ランプ内損傷箇所・路面標示の補修等について

- ・ランプ内損傷箇所や凸凹箇所、不鮮明となっている路面標示の補修、車両脱輪防止のためのグレーチングの設置等の対応をお願いしたい。【内容変更】



② ランプ内の安全確保について

- ・右左折の際に通行車両が視認しにくい場所にカーブミラーを設置いただきたい。【新規】



③ 空港周辺歩道の補修について

- ・新整備地区の歩道の滑り止めや路面の補修をお願いしたい。【継続】

④ 台風対策について

- ・GSE（地上支援器材）車両や脚立などを確実にタイダウンできる場所の新設を検討願いたい。【新規】



2. 日本空港ビルデング

① 空港利用時の利便性向上について

- ・空調設備のあるPBB（旅客搭乗橋）の導入をお願いしたい。【継続】
- ・施設内の換気機能の向上をお願いしたい。【新規】
- ・電子マネー決済ができる自動販売機やロッカーに順次変更願いたい。【新規】

- ・第1ターミナルに新設された多目的レストルームを第2ターミナルにも設置いただきたい。【新規】



- ・施設内従業員用の化粧室について、ユニバーサル使用に変更していただきたい。【新規】
- ・タッチパネル式の暗証番号以外に非接触で空港内施設へ立ち入りができるセキュリティについて検討いただきたい。【継続】
- ・第2ターミナルの雨漏りが恒常化しているため、早急に対応をお願いしたい。【継続】
- ・台風等の大規模自然災害時の空港許容滞在人数の把握とそれを超える場合の着陸受け入れ禁止について航空局に働きかけをお願いしたい。【新規】



3. 東京国際空港ターミナル

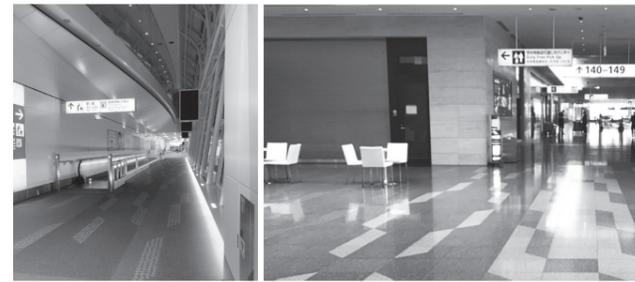
① 空港利用時の利便性向上

- ・空調設備のあるPBBの導入をお願いしたい。【継続】
- ・施設内の換気機能の向上をお願いしたい。【新規】
- ・出国エリア内に礼拝スペースを新設することを検討していただきたい。【新規】
- ・駐輪スペースの拡充をお願いしたい。【新規】
- ・従業員向けの食堂や大規模休憩スペースの新設を検討いただきたい。【新規】
- ・バスやタクシープールが拡大されたが路上駐車も含めて渋滞が恒常化しているため、警察や関東運輸局に働きかけをお願いしたい。【継続】



② お客様への案内方法の改善について

- ・国際線から国内線への乗り継ぎの際の手荷物の引き取り漏れが多いため、新設されたデジタルサイネージへの表示など案内表示の掲示をお願いしたい。【継続】
- ・免税品取得場所の案内看板の追加やデジタルサイネージへの表示を検討願いたい。【新規】



4. 京浜急行電鉄

① 利便性向上に向けた環境整備

- ・定期券購入においてクレジットカード決済ができるようになったが、切符購入時においても多様な電子決済方法の拡充をお願いしたい。【新規】
- ・羽田空港第1・第2ターミナル駅構内化粧室が老朽化しているため、個室の洋式化やユニバーサル仕様への改修をお願いしたい。【新規】
- ・空港線の輸送力増強のため、羽田空港第1・第2ターミナル駅の引き上げ線新設に向け、早期着工を推進いただきたい。【新規】
- ・京急蒲田駅での運行情報提供の強化のため、サイネージの増設やエスカレーター裏側・側面の壁を利用したプロジェクターでの投影の検討をお願いしたい。【新規】



② 安全性向上に向けた環境整備

- ・主要駅にホームドアの拡充が進められているが、さらなる推進をお願いしたい。特に穴守稲荷駅における安全対策は引き続き検討をお願いしたい。【継続】
- ・新型コロナウイルスの感染予防に関する具体的な取り組みについて、車内アナウンスなどを含め利用客に共有し、安心感向上につなげていただきたい。【新規】



5. 東京モノレール

① 利便性向上に向けた環境整備

- ・新整備場駅のホーム階から地上階までのエレベーターは設置されたが、ホーム階から改札階までのエレベーター／エスカレーター等の改修計画について進捗を確認したい。【継続】
- ・浜松町駅のエレベーター案内表示がわかりづらいため、外国

- 人の方合せてわかりやすい表示を検討いただきたい。【新規】
- ・羽田空港第2ターミナル駅構内の化粧室が老朽化しているため、洋式化やユニバーサル仕様への改修をお願いしたい。【新規】
- ・切符購入時においても多様な電子決済方法の拡充をお願いしたい。【新規】



6. 東京空港交通

① バス利用者の利便性向上

- ・羽田空港バス停で待っている方が点字ブロックの上に大型荷物を置いているため、アナウンスの強化をお願いしたい。【新規】
- ・羽田空港バス停において、利用客とバスとの接触を防ぐため、安全策の設置をお願いしたい。【新規】
- ・ホームページが日本語と英語の2か国語しかないため、中国語と韓国語を含んだ4か国語での表示を検討いただきたい。【新規】
- ・新浦安エリア～羽田空港間の回数券導入を検討いただきたい。【継続】
- ・バス利用特典サービスについて高速バスや空港バスも対象となるように検討していただきたい。【新規】



7. 京浜急行バス

① バス利用者の利便性向上

- ・羽田空港バス停で待っている方が点字ブロックの上に大型荷物を置いているため、アナウンスの強化をお願いしたい。【新規】
- ・羽田空港バス停において、利用客とバスとの接触を防ぐため、安全策の設置をお願いしたい。【新規】
- ・蒲田駅～羽田空港間のリムジンバスについて、大型荷物を持った利用客が多いため、荷物置きスペースの大きな車両の導入等を検討いただきたい。【新規】
- ・貨物地区循環バスの運賃について現金とIC料金使用時の運賃に差があるため、同額にしたい。【新規】



1. 安全で安心な空港づくりに向けて

① 上屋内における鳥糞被害について

現在、各事業所にて鳩が嫌う忌避剤の塗布施工を実施しているため、鳩による糞等の被害はないが、引き続き定期的な鳥糞被害の現状と生息状況を確認していただき、卵や雛を発見した場合の対応だけでなく、鳥が住みつかない未然防止措置をお願いしたい。【継続】

② 貨物上屋ランド側走行トラックの通行について

貨物上屋ランド側車両通行帯の横断歩道を横断する際、車両通行帯を走行するトラックが減速することなく通過し危険を感じるため、停止線手前に“減速”等の注意喚起塗装をしていただきたい。【内容変更】

③ PBB(旅客搭乗橋)のプリセットについて

PBB操作時プリセットの使用を推奨されたが、新機種(B787、A350)のプリセットが追加されていないためマニュアルでの操作を実施している。PBB不具合が発生し航空機の安全や定時に影響が出る可能性もあることから、新機種就航の際は、随時プリセットの機種を追加していただきたい。【新規】

④ スポット(駐機場)500番サービスレーンについて

夜間雨天時にスポット500番へ向かうサービスレーンの進入場が視認しづらく、迷走している車両に遭遇したこともあ



る。全ての方が安心して走行できるように、サービスレーン進入通行帯に路面標識を塗装していただきたい。【新規】

⑤ 貨物上屋周辺のアスファルトの凹凸について

貨物上屋ランプ側、トラックヤード側共にアスファルトの凹凸が激しい箇所があるため、車両走行時の振動による貨物落下の危険性もあり、安全に走行することができない状況である。定期的に路面状態を確認していただき、適宜路面改修工事をしていただきたい。【新規】



⑥ 貨物地区空港職員駐車場の路面塗装について

貨物地区空港職員駐車場において路面の矢印標記、駐車枠の白線が薄くなっており、走行方向や駐車位置の認識が出来ず誤って逆走してしまう場面が散見される。狭いエリアですれ違わなければならない事象が度々発生しており事故の可能性もあることから、再塗装していただきたい。【新規】

⑦ 機用品棟エリア通行帯及びランプエリアの路面塗装について

機用品棟エリア通行帯の白線が消えており、雨天時は特に視認しづらいため、再塗装をしていただきたい。またスポット8番付近のように通行量が多い場所においてもランプエリアと車両通行帯の境界線が消えかけており雨天時だけでなく夜間でも視認性が悪い為、再塗装及び定期的な点検をお願いしたい。【新規】

⑧ 航空機停止線の機種標記について

現在の航空機停止線の機種標記は、B737であれば-400と-500しか標記がないため、B737シリーズの標記を追加するか、B737の標記のみにするか等、誰が見ても分かり易い標記にしていただきたい。【新規】

⑨ ランプ内や施設面での自動化について

空港における安全を担保した上で、ランプ内や施設面での自動化、IoTやAIの活用により生産性向上に率先して取り組むべきであるとする。中部国際空港においても、自動化の実証実験が行われているが、今後は範囲の拡大や、その他の取り組みについて検討や計画があるのか確認したい。【新規】

⑩ グラハン資機材共有スキームの構築について

国土交通省が策定したグランドハンドリングアクションプラ

ンの中に共通仕様の資機材を空港会社等が一元的に保有する「グラハン資機材共有化スキーム」の構築を1年以内に処置と明記されているが進捗状況を確認したい。【新規】

2. 利便性向上に向けて

① 国内保安検査場内の売店、レストラン店舗の増加について

他空港と比較しても数が少ない為、知らずに検査場内に入場されたお客様からのお問合せが多く、少ないことにつながりされている様子も見受けられる。

飲食施設や魅力的なお土産売り場が検査場内にあることにより、早期入場が促進され、検査場混雑の緩和にも繋がるため、復便を見据えて検討していただきたい。【継続】

② 国内線保安検査場内の搭乗口間違えについて

国内線保安検査場内にて搭乗口間違えが多数発生し遅延にもつながっていることから、床にゲートの方向の矢印を表示するなど、視覚的に効果のある表示方法に改善していただきたい。【新規】

③ ターミナル間違えについて

ターミナル2の旅客が間違えてターミナル1に来ていることがあるため、アナウンス以外にも国内線カウンター付近の係員等を増員して強化していただきたい。【新規】



④ ターミナル2の車椅子旅客について

ターミナル2の出発動線において、車椅子旅客がPBLに乗車する際に雨避けがなく、旅客も係員も濡れてしまうため、雨が避けられる場所での乗降車ができるよう整備していただきたい。【新規】

⑤ 3階上陸防止施設のWi-Fi環境について

3階の上陸防止施設に電波がまったく入らず、翻訳機を使用してお客様と会話をする際や、携帯電話を使用して電話をする際に大変不便でありお客様に不便をおかけしているため、Wi-Fiの環境を整えていただきたい。【新規】

⑥ 保安区域の緩和について

仙台空港が国土交通省等と調整を行い、保安検査場を通過した先の搭乗待合室等の保安区域に、見送りに来た家族等が入れるように、空港内保安区域規制緩和を検討していると認識しているが、中部国際空港においても同様な取り組みが実施されることはあるのか確認したい。【新規】

⑦ 空港内空き地の活用について

中部国際空港において、現在空き地が点在しているが今後の運用、活用について計画がなされているのか確認したい。【新規】

3. 中部国際空港の基盤強化に向けて

① 大規模自然災害への備えについて

昨今、集中豪雨、大型台風の上陸、地震災害等、異常気象環境下において想定を大きく上回る被害が各地で発生している。現時点で想定しうる災害には対応できるとの見解であることは理解しているが、年々変化する環境に対し想定の見直し、検討等はされているか確認したい。定期的な見直しが行われていないのであれば、不測の事態にも十分に対応できる環境確保に向け、適宜想定の見直し、対応の検討を図る等、災害への備えを強化していただきたい。【新規】

② 空港アクセスについて

FLIGHT OF DREAMSや国際展示場等の商業施設の開設に伴い、空港島への訪問客の更なる増加が期待されている。人の輸送力強化、そして平成30年の台風21号の影響による関西国際空港閉鎖のような有事の際における輸送機関の確保を目的とし、名古屋鉄道、常滑市政等、関係各所と連携、調整を随時行っていたいただきたい。【新規】

③ 疫病への備えについて

新型コロナウイルスが蔓延している環境下において陽性者が出た際の情報共有や、別途動線の確保が行われていることの継続をお願いしたい。一方、PBBやカウンター等の旅客動線であるものの、各社が使用している施設に加えてSDプラントの汚水処理場の菌の付着や、保菌されている可能性のある施設の消毒について空港全体での対応を検討していただきたい。【新規】

④ 愛知県、常滑市との連携について

新型コロナウイルスのような不測の事態によって事業環境が厳しい状況に陥った際に、国の助成金等で援助がなされているが、愛知県に対しても中部国際空港に関わる事業者が一体となって補助金等の交渉を行い、地方政策とのかかわりを強く持つて将来を見据えた調整していただきたい。【新規】

航空 大阪 連合

関西国際空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって安全、快適で便利な空港づくりに向けて

① ターミナル施設のバリアフリー化促進について

旅客ゲートに設置されているエスカレーターは、車椅子にも対応できるように通常の3段分が平らになる設定ができる。平らな設定にした場合、大きな段差が生じることから係員が車椅子利用のお客様を安全にサポートすることが難しく、お客様の中には恐怖心を抱かれる方もいる。車椅子を利用するお客様がより安全に、安心して使用できるよう改善策を検討いただきたい。

【継続】



② 空港駅から国際貨物・給油地区方面行き南海バス乗り場に向かう階段付近へのエレベータ設置について

国際貨物・給油地区に立ち入られるお客様はバスを利用する必要があるが、バス乗り場に向かう為にエレベータを使用したい場合、バス乗り場までの距離が非常に長い。バス乗り場に向かう階段はあるものの、傾斜が急である為、とりわけ障がい



お持ちの方は使用することが難しい。また案内も分かりづらく、改善を求める要望があったため、バス乗り場付近のエレベータ設置を検討いただきたい。

【継続】

③ ターミナル1の施設内エレベータ使用状況について

ターミナル1は複数階構造になっており、空港駅から4階の国際線出発フロアに向かう為に階の移動が必要になる。エスカレーターでのカート利用は禁じられているため、カートを使用する場合の移動にはエレベータを利用する方法のみである。多数の荷物をカートに乗せた外国人旅行者が増加しており、唯一の移動手段であるエレベータの本数が少ないため慢性的な混雑が発生している。そのため、急病人の発生時や車椅子など配慮を要するお客様が利用しづらい状況にある。また、エスカレーターに乗られたお客様のスーツケース滑落が散見されており、事故を誘発しかねない為、エレベータ増設を検討いただきたい。

【継続】



④ ターミナル1の施設内階段使用時の動線について

階段を使用して移動する際の動線がわかりづらい。特に国際線出発フロアから降りる際、2階国内線フロアに直結する階段と直結していない階段がある。階段付近には案内があるものの表示に気づかず、階段途中で道に迷っているお客様が多数見受けられる。2階への迂回路が書かれておらず迷われる方が多いと推測されるため、階段に関する案内表示を視認性の良いものに変えていただくと同時に2階への迂回路の追記を検討いただきたい。

【新規】



⑤ お客様が利用するカートについて

2018年に発生した大型台風以降、お客様が利用するカート台数が少なくなっておりお客様からの問い合わせが非常に多い。また、カートが団体バス乗り場等まで持ち出され、放置されて散乱している状態が常態化しており、強風時には危険である。カートの増配備及び複数箇所にカート置場を設置し、分かりやすく、明確に周知する等の改善策を検討いただきたい。

【新規】

2. リノベーション後、空港を利用されるお客様にとって親切な案内表示に向けて

① 空港駅からの案内表示について

空港駅からターミナル1、2の各出発カウンターへの誘導看板が視覚的にわかりづらく、特に外国人旅行者から旅客係員への問い合わせが多いため業務にも支障が出ている。リノベーション後、視覚的に目立つ誘導看板や案内表示を増やす等の改善策を検討いただきたい。

【継続】



② ターミナル1の施設内トイレの案内表示について

ターミナル1の施設内トイレの案内表示がわかりづらくお客様からの問い合わせが多いため、リノベーション後、視覚的に目立つ案内を増やす等の改善策を検討いただきたい。

【新規】

③ リノベーション後の国際線出発エリアについて

国際線出発エリアが拡大し、商業施設が充実することは望ましい一方で、これまで以上に搭乗案内時刻にお客様がゲートに集まりづらい状況が想定される。また、敷地面積が広がることもあり、旅客係員がお客様の捜索に時間を要するため、出発便の定時性に支障が出る可能性もある。商業施設の充実だけでなく、出発便の定時性や旅客係員の業務負担も踏まえた視点でのリノベーションをお願いしたい。

【新規】

3. 空港で働くものがいきいきと働き、空港としてのパフォーマンスをさらに発揮できる環境をめざして

① 保安区域の出入りについて

保安区域を出入りする際は立入証(ランプパス)の提示が必要であり、保安区域内に本社事務所がある事業所の場合は、出社・退社時に提示が必要であるため、ランプパスを自宅に持ち帰っている。ランプパスを空港外に持ち出すことで紛失、盗難、悪用される可能性もあるため、保安区域の出入りについてはランプパスの提示ではなく、海外空港においてすでに導入されている指紋認証など、生体認証の早期導入を検討いただきたい。

【継続】

② 南北スポットのメンテナンスについて

COVID-19拡大にともない、スポットの使用頻度が大幅に減っており雑草等が目立つ。再び使用する頻度が高まる前に、不具合がないようメンテナンスをお願いしたい。

【新規】

③ ランプエリアの水はけについて

15、16番スポット(駐機場)付近の凹凸により、雨天時には水はけが非常に悪く、数日たっても水がはけない状況である。器材に対する影響や衛生面も踏まえて改善いただきたい。

【継続】



④ VDGS(駐機位置表示灯)の設置について

北側スポットにはERAラインが道路近くまで引かれているスポットが多く、大型機のマーシャリング作業時は、道路際で実施する必要があり非常に危険である。以前発生した「航空機誘導時、誘導者が車両と接触した事故」の再発防止のため、事故が発生した8番スポットとERAラインが道路に近い6番スポットにVDGSを設置いただきたい。

【継続】



⑤ ターミナル1北側における路面状態について

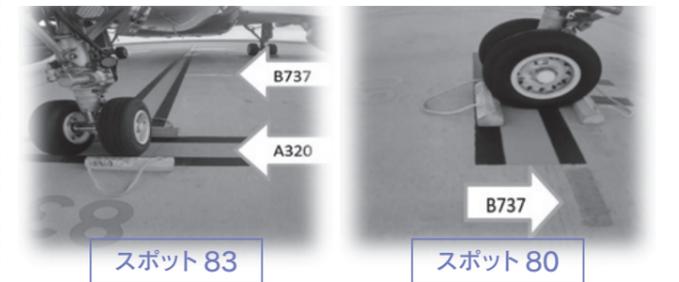
1番スポットと現在大型工事をしている間の道路から1番スポット後方車両通行帯へ抜ける路面の凹凸が大きく、走行時による車両の跳ね上げが激しいため、路面の改修をお願いしたい。

【新規】

⑥ ターミナル2における航空機停止位置表記について

80番スポットの機体停止位置にはB737-800との記載しかなく、停止位置を間違えかねないため、機種別の停止位置の表記をお願いしたい。

【新規】



⑦ ターミナル2における路面状態について

S6からJ3やJ4に行く経路(94~99番スポット後方タキシングエリア)の路面状態が悪化してきており、航空機牽引時、速度を落としても車両・機体の跳ね上がり、振動が激しくなっているため、改修をお願いしたい。

【新規】

1. 空港を利用されるお客様にとって安全、快適で便利な空港づくりに向けて

① 空港周回道路について

空港周回道路では、依然として路上駐車等が発生しており、お客様から「交通事故にあいそうになった」というお声をいただいている。引き続き、周回道路の案内標識の設置場所の工夫や周回道路の路上駐車を取り締まりの強化をお願いしたい。また、ターミナル前駐車場の出口および降車レーン、送迎用駐車場より空港周回道路へ出る際、視認性の悪い箇所も見受けられ、交通事故につながるような状況も散見される。引き続き、航空機をご利用のお客様が安全にアクセスできるよう、工夫をお願いしたい。【継続】



② お客様が利用しやすい駐車施設に向けて

お客様のニーズに合わせ送迎スペースが新設されたが、15分までは無料で、15分を超えると500円が課金される。お迎えのお客様は、航空機の到着時刻を目安に来港されることが多いが、航空機がブロックイン後、手荷物を受け取り、到着口を出るまでには、15分～20分程度かかる。30分間無料の別の駐車場への経路は雨天時に濡れてしまうため、お客様のサービス向上を目的とした送迎スペースの無料時間の延長を検討いただきたい。【新規】

③ オープンスポットにおけるゲート番号変更について

ゲート(北23番、南9番)とバスゲート(北23A/23B/23C、南9A/9B/9C)が隣接しており、本来であればバスゲートから搭乗しなければならないお客様が、23番ゲート・9番ゲートでお待ちになる状況や、機内へ搭乗後、座席番号と間違われることも多く、定時運航に影響を及ぼしている。ゲート案内表示にバスマークを示す改修をしていただいたが、引き続き他の主要空港と同じくお客様がバス移動であることを認識できるゲート番号の付与を検討いただきたい。【継続】

	階層	【現状】	【提言内容】
北ターミナルビル			
搭乗ゲート	ビル2階	23番搭乗口	23番
		23A搭乗口	300番
バスゲート	ビル1階	23B搭乗口	301番
		23C搭乗口	302番
南ターミナルビル			
搭乗ゲート	ビル2階	9番搭乗口	9番
		9A搭乗口	500番
バスゲート	ビル1階	9B搭乗口	501番
		9C搭乗口	502番



④ 到着手荷物返却場のベルトコンベア

ベルトコンベアへの手荷物の巻き込みを防止する為、航空会社も通い箱を準備し対応しているものの、手荷物の個数が増加する繁忙期を中心に対応が追いつかない状況が発生している。万が一手荷物がベルトコンベアに巻き込まれた場合、専門業者を呼び、装置を分解して対象物を取り除かなければならないため、時間を要しお客様への返却が遅れご迷惑をお掛けしている。巻き込み防止に向けた改修を検討いただきたい。【新規】



⑤ ゲートからPBB(旅客搭乗橋)の間の空調について

ゲートからPBBの付け根にかけて空調機がない為、夏場は熱中症の危険をとまなう程度にまで室温が上昇する。冷房機の設置を検討いただきたい。【新規】



2. 空港で働くものがいきいきと働き、空港のパフォーマンスをさらに発揮できる環境をめざして

① IDLE RUN UP実施可能時間の拡大について

各航空会社の機材整備を円滑におこなえる環境を整備し、空港全体でのさらなる定時運航につなげる為、各スポットでのIDLE RUN UP実施可能時間の拡大を検討いただきたい。【継続】

【IDLE RUN UP可能時間】
(現 行) 平日/土曜 6:30～22:00, 日曜/祝日 6:30～21:00
(提言内容) 全 日 6:00～22:00

② ランナップエリアの大型防音壁の壁剥がれについて

大型防音壁の壁が剥がれている部分が多く、安全性に問題がある。航空機用のチョーク類や脚立類を保管している真上も剥がれている箇所がある為、早急に改修をお願いしたい。【新規】



③ 従業員用保安検査場について

2019年8月24日、従業員用保安検査場の検査機器が故障し、復旧までに時間を要したため、オペレーションにも支障が生じた。出発便が輻輳する時間帯の混雑緩和および故障時の対応という観点とあわせて、COVID-19の感染拡大から身を守るべく新しい生活様式の定着が謳われている中、混雑回避の観点でも従業員用の検査レーンの増設を検討いただきたい。【継続】

④ 貨物エリアの路面修繕とトラック駐車について

トラックヤードの凹凸について、台車などでの貨物運搬時における貨物損傷防止に向け、路面補修を検討いただきたい。加えて、特殊車両が行き来する中、安全性とハンドリングスペースを確保する観点からもトラック駐車場所の新設を検討いただきたい。【新規】



⑤ 貨物上屋の鳥害について

貨物上屋内に鳥が侵入し糞害が発生している。お客様の貨物の汚損防止に向けた対応を検討いただきたい。【継続】

神戸空港について

1. 空港を利用されるお客様、従業員にとって安全、快適で便利な空港づくりに向けて

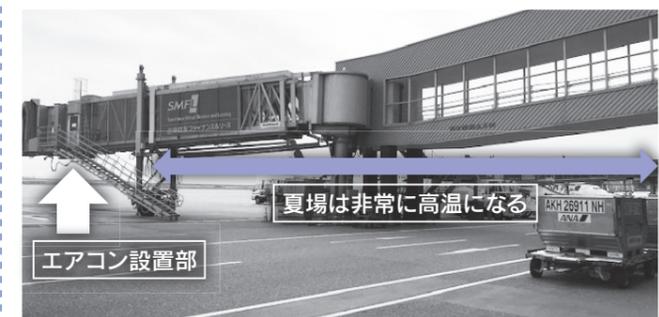
① オープンスポットハンドリング時の準備について

現状ではオープンスポットハンドリング時にコーンやポールを設置してお客様の徒歩動線を確保しており、準備に30分から40分程度の時間を要している。また、スポットの増設により、過去よりも動線確保に必要な備品量が増加している。以前、急遽オープンスポットでの対応が必要になった際、準備が間に合わず、ポールを簡易的に設置したのみでハンドリングをおこなった事例もある。突発的なオープンハンドリング時にも安全にお客様を誘導するため、また従業員の負担軽減のため、将来的に伸縮式乗降支援機材『エプロンルーフ』の導入を検討いただく等、オープンスポット使用時のハンドリング方法改善を検討いただきたい。【継続】



② PBBの空調設備について

各スポットのPBBは先端部にしかエアコンが装備されておらず、夏場はガラス張りとなっている伸縮トンネル付近、固定橋付近が非常に暑くなる。現在もエアコンのこまめな清掃やガラス張り部分に暑さ避けを設置する等の工夫を実施いただいたが、依然としてお客様からも多くの声をいただいている。先端部以外にも冷房を設置する、夏場に日よけを設置する等、引き続き暑さ対策を検討いただきたい。【継続】



③ 到着ロビーの手荷物返却ターンテーブルを示すキャナリー(案内掲示板)について

到着ロビーのキャナリー表示が壁面に設置されているが、画面も小さいためお客様にターンテーブルのご案内が伝わりづらい。画面の大型化と、ターンテーブル番号の表示部にあわせてキャナリーを設置する等、改善を検討いただきたい。【新規】



④ 災害時に備えた避難方法の周知、並びに空港内事業者合同訓練の実施について

地震・津波BCP「震度5強以上の地震及び大津波警報発表時の避難行動について」が作成され、空港内にも避難場所を示す看板が設置されている。しかしながら、空港で働く従業員内でも、地震発生時や大津波が到達することが予想される場合に具体的にどのように避難行動をおこなうのか浸透していないのが現状である。また、避難経路上の扉が施錠されており、有事の際に本当に使用できるのか不安に感じている従業員もいる。災害発生時の避難計画を分かりやすく明示し、空港内事業者合同訓練の実施等の機会をとらえて、空港で働く従業員に具体的な避難計画を浸透させるなど、災害時に強い空港作りをおこなう機会を設定いただきたい。【新規】



福岡空港について

1. 従業員・お客様の安全に関わる項目

① COVID-19 拡大予防策について

国内線ターミナルビル2階のフードコートにおいて、一部の座席使用を禁止する対応だけでなく、座席間にアクリル板もしくはパーテーションなどを設置する事により、利用者同士の間を遮蔽する対応策を図っていただきたい。また、消毒液について、クリーンエリア・到着ロビー等、各エリアに一部設置されていない場所があるため、早急に現状を把握し、増配備をお願いしたい。【新規】

② PUSH BACK作業に関わる改善について

夜間及び雨天時のPUSH BACK作業時、国内線Z（ズール）ライン、Y（ヤンキー）ライン、国際線G（ゴルフ）ラインのTAXI WAY中央線の視認性が非常に悪い。とりわけ国内線Zラインは、スポット（駐機場）からのPUSH BACK距離も長く経路が複雑であるため、危険度が高いと認識している。国内線Zライン、Yライン、国際線Gラインの灯火の照射範囲の見直し等、視認性向上対策を図っていただきたい。また、PUSH BACK作業の技術革新は着実に進んでいるため、佐賀空港での自動化実証実験の情報等、先行事例を取り入れながら、安全に直結する新たな働き方の推進について検討いただきたい。【新規】

③ PBB（旅客搭乗橋）格納時の視認性改善について

PBB脱操作の際、カメラ画像が鮮明でないことに加えPBB格納位置マーキングも定まっていないため、PBB操作盤から格納位置が見えにくい状態である。特に雨天時や夜間においては著しく視認性が悪い。カメラ画像の視認性改善及びカメラ機能の向上を図っていただきたい。加えて、各スポットにおけるPBB格納位置マーキングを明確に施していただきたい。【新規】

④ 国内線スポット8番・9番付近の安全確保について

スポット8番からスポット9番の間にあるバスラウンジ前（滑走路側）には一時停止標識がないために車両同士の譲り合いによって走行している現状であり、また照明も未設置であるため付近の歩行や自転車走行時に危険を感じている。直線に入る手前一時停止標識を施し、車両通行帯



に照明を設置することで、ランプ内の接触事故未然防止・転倒事故未然防止につながり安全性が向上するため、早急な設置をお願いしたい。【新規】

⑤ 国際線大型車両進入ルートの明確化について

現行は、車両通行帯と大型車両通行帯を結び通行帯がなくスポット間を通行している。進入位置の明確化や、通行帯が確保されることで事故の未然防止につながると考えるため、車両通行帯と大型車両通行帯を結び通行帯の明記をお願いしたい。【新規】

⑥ 増設予定である新滑走路の進入灯設置について

現行、増設予定の新滑走路に対して進入灯の設置が計画されていない。悪天時及び長時間滑走路閉鎖等の不測の事態発生時においても、滑走路処理能力を高める為には進入灯設置が必要不可欠である。隣接する現行の平行滑走路への誤進入を防ぐという意味でも有効であると考えられる為、新滑走路に対して、進入灯(720m以上：FULL FACILITY)を設置いただきたい。【新規】

2. 従業員・お客様の利便性向上に関わる項目

① 福岡空港内各種扉のIC化について

福岡空港内セキュリティー付各種扉は現在もテンキー運用を継続しているが、空港内従業員の入れ替わりが多い中、保安情報流出を抜本的に防ぐにはIC化の推進が効果的である。また非接触式での開錠によりCOVID-19感染リスクも低減できることから、早急に福岡空港内セキュリティー付各種扉（各社個別の諸室除く）のIC化を進めていただきたい。【継続】

② 22時半以降の従業員退社時の動線について

22時半以降の退勤時、地下警備室前通過後、地上を歩いて地下鉄の駅まで向かう必要があり、空港運用時間内と比較して利便性が悪い。この点について改善を求める声が根強い為、地下鉄コンコースにつながるシャッター閉鎖時間を30分後ろ倒し、23時とする事を要望する。福岡空港への最終便到着の時間とその後の処理業務等に鑑みると、23時までの運用が望ましく、30分の延長が実現することで多くの空港従業員の利便性向上につながると考える。空港の運用柔軟化とあわせてシャッター管理者の福岡市交通局への働きかけをお願いしたい。【継続】

③ 国際線保安検査場混雑緩和について

国際線保安検査場は国内線のように優先レーンが設けられておらず、車いすご利用のお客様、その他配慮を必要とするお客様や、多頻度利用のお客様の利便性が確保されていない。お客様の利便性向上・満足度向上につなげるためにも、国際線保安検査場において、優先レーンの設置を要望する。あわせて、優先レーンの位置を示すサインを視覚的に分かりやすく表示いただきたい。【新規】

④ 車両通行帯における不要なマーキングの撤去について

ターミナルビル工場の影響と思われる旧バス待機場前（スポ

ット1、2前方通行帯）の一時停止線が残ったままになっている。現行では不要と思われる、通行時の妨げにもなっている事から削除いただきたい。【新規】

3. 災害発生時の対応について

① 水害発生に備えた対策について

昨今（令和2年7月）の九州豪雨では、福岡空港にも飛行場大雨警報が発令された。北側GSE（地上支援器材）置き場においては大雨によりGSEが浸水する危険性があったため、急遽退避場所を調整し、旧40番スポットの空き地に退避させる事例が発生した。九州地方を中心に水害の発生が多頻度かつ激化しており、他空港では冠水によりGSEが使用できなくなった事例もあることから、福岡空港においては今回の事例を教訓に、GSE緊急避難場所の検討、及びランプ内・ターミナル内の「浸水ハザードマップ」を作成いただきたい。【新規】

北九州空港について

1. 従業員・お客様の安全に関わる項目

① PBBタイヤガード設置について

2010年に国土交通省から出された提言に基づき全国の空港でタイヤガードの設置が進められてきたが、北九州空港においては未だ設置されていない。ランプエリアで働く者の安全を確保するために早急な設置を要望する。【新規】

② 災害に備えた対策について

海上空港である北九州空港では、自動車・歩行者用連絡橋が唯一のアクセス経路である。災害時に空港からの避難、空港への支援をおこなうルートを検討いただくとともに、お客様や従業員が一定期間空港で過ごすことができる、インフラや飲食物の確保などを要望する。【新規】

2. 従業員・お客様の利便性向上に関わる項目

① PBB周辺の空調改善について

エアコンが設置されているものの、エアコン直下のみ冷風や温風が感じられる状況である。増設やエアコン能力・循環を強化し、搭乗動線全体で快適な環境となるよう改善を要望する。【継続】

② 飲食店の誘致について

現在の飲食店に加え、ファストフード店など、従業員、お客様が安価で気軽に利用できる店舗の誘致を要望する。【新規】

③ 空港アクセスの改善について

複数の便が出発・到着する時間帯においてバスが満席となり、希望するお客様が乗車できない事例が度々発生している。福岡市、福岡空港との連携や、バス以外の選択肢を増やすなど改善について検討いただきたい。【継続】

④ 駐車場の拡張・整備について

多客期に駐車場が満車となり、車を止められない・連絡バスが渋滞に巻き込まれる等の事例が発生しており、搭乗に支障をきたしている。また、路面の凹みや白線の劣化により、場内の逆走・追突事故等も発生している。駐車スペースの増設、路面状態の改善を要望する。【継続】

3. 施設の改善に関わる項目について

① 貨物エリアの拡充について

昨今貨物機の就航が増加しているが、貨物設備は従来から変わっておらず、増加する貨物に十分に対応できていない。国内・国際貨物上屋の拡充、国際上屋保冷コンテナの拡充、スポット内の地上電源・エアコンの設置、空港ビルによる共用GSEの購入を要望する。【新規】

② エンジンランナップエリア(エンジン試運転場)の設置について

専用エリアが確保されておらず、エンジンランナップを滑走路上で実施している為、その間滑走路が使用できない状態となる。運航への影響軽減及び柔軟な整備作業を可能とするため、専用エリアの設置を要望する。【新規】

佐賀空港について

1. 従業員・お客様の安全に関わる項目について

① PBBタイヤガード設置について

PBBタイヤガードが設置されていない。安全作業・事故回避の為に早期の設置を要望する。【新規】

② 夜間、雨天時の照明の明るさの改善について

夜間・雨天時におけるPUSH BACK作業の際、照明の照射範囲が狭く全体的に視認性が悪いため、視認性向上につながる改善を要望する。【新規】

③ 各スポットの誘導ライン改善について

航空機進入時の誘導ライン（各スポットに施されている黄色ライン）が、経年劣化により視認性が悪化している。年間の計画作業において塗り直し等の対応は図られているものの、計画時以外でも必要に応じて迅速かつ柔軟に対応できる仕組みを整えていただきたい。【新規】

2. 災害発生時の対応について

① 災害発生時の対応について

津波など災害発生時の対応方法や避難経路が不明確であるため、緊急時対応要領の策定を要望する。【新規】

1. 航空政策に関する要求について

① 沖縄振興の恒久化・利用者負担の軽減

沖縄は日本で唯一、陸路で結ばれていない島嶼県であり、域内・外の輸送手段として航空輸送の位置づけは極めて重要である。特に航空輸送の充実を図る上では航空運賃の低廉化は最重要課題であり、政府は沖縄振興策の一環として那覇-本土路線の航空機燃料税の軽減措置や空港使用料（着陸料・航行援助施設利用料）の軽減措置を実施し、航空運賃の引き下げを図っている。しかし、沖縄振興策は時限立法であることから、これらを恒久的な制度とするとともに、下記の措置を実施し運賃の引き下げを通して利用者の負担を軽減していただきたい。

- 1) 沖縄県内一本土路線の航空機燃料税を廃止とすること。【継続】
- 2) 空港使用料の軽減措置について、恒久的に実施すること。【継続】

② 機内持ち込み手荷物の規制強化

機内持ち込み手荷物はサイズならびに個数の制限があるが、至近の事例として制限以上の手荷物を機内に持ち込み、収納に時間を要し、便出発の遅延要因となっている。制限の周知徹底ならびにFAST TRAVELによるスムーズな手荷物受託の仕組みづくりを要請する。【継続】

③ 免税商品の受け取りについて

クリーンエリア内にて受領する免税商品は一部大型手荷物もあり、機内持ち込みサイズ並びに個数の制限を超過するケースもある。機内収容に時間を要することから受領した免税商品を極力受託いただくご案内、協力依頼と周知をお願いしたい。【新規】

2. 航空保安に関する要求について

① 宮古・新石垣空港 到着動線の逆流防止対策

宮古・新石垣空港では到着されたお客様が手荷物返却場から逆流する事例が発生している。保安上の観点から逆流防止のゲート設置を要請する また県管理空港である離島空港における航空保安確保指針を確認したい。【変更】

② 車両通行帯・誘導灯などの補修対応について

那覇空港ランプエリアの車両通行帯、並びに夜間の誘導灯が古く非常に見えにくいことから作業および交通の安全上、対応を要請する。【継続】

3. 那覇空港施設に関する要求について

① PBB(旅客搭乗橋)の空調設置対応について

那覇空港のPBBに空調設備がないことから、高温多湿の沖縄において利用者の快適性向上のため、全PBBに空調設置を要請する。【継続】

② 国内線到着口の横断歩道信号設置について

国内線到着口はレンタカー送迎車ならびにタクシー等車の往来が激しく、横断者の交通安全のため信号並びにスピードバンプの設置を検討したい。【変更】

③ 出発ロビー内トイレ混雑緩和について

修学旅行など大型団体出発時には出発ロビーのトイレが非常に混雑する。混雑緩和のため出発ロビー内トイレの増設を要請する。【変更】

④ 従業員駐車場の増設・アクセスの見直し

従業員駐車場の容量不足から、貨物地区従業員駐車場の立体化を要請する。また 従業員駐車場から国際ターミナルへの連絡通路を設置し、雨天時の駐車場とターミナル間のアクセス改善を要請する。【変更】

⑤ 従業員駐車場から貨物地区までの歩道整備

ターミナル側従業員駐車場から貨物地区までのアクセス改善を要請する。【新規】



⑥ レンタカー引き渡し防止強化

那覇空港駐車場でレンタカー引き渡しが散見され、駐車場混雑・周回道路の混雑の要因となっていることから取り締まりの強化を要請する。【新規】

⑦ スポット(駐機場)の拡充

第2滑走路の運用が開始され離発着の増加が見込まれるが、スポットのスペースがないことから検討をお願いする。【新規】

⑧ 空港施設内の医療施設設置

利用者・空港従業員の急な体調変化に備え、那覇空港施設内に医療施設の設置を要請する。【新規】

⑨ アンダーパスの道路補修

那覇空港西側アンダーパス路面が滑りやすくバルクカートが横滑りする危険性があり、滑り止めの対策を要請する。【新規】



4. 離島振興に関する要求について

① 新石垣空港ターミナル狭隘への対応について

本土直行便が多く就航ようになった新石垣空港において本土便出発が重複する時間帯に保安検査場をはじめ、出発ロビーが非常に混雑し、利用者の利便性が著しく悪くなっている。施設の拡張を含め、利用者がスムーズに利用できるよう改善を要請する。【変更】

② 石垣・宮古空港従業員駐車場の契約について

新石垣空港・宮古空港において従業員駐車場契約は月極にて契約しているものの、イレギュラー等で22時を過ぎた際に別途料金が発生する。安心して働けるよう、月一律の料金にしていきたい。また22時以降は出庫が出来ないことから、対応をお願いしたい。【継続】

③ 宮古空港における路上駐車取り締まり強化

宮古空港の送迎で路肩に駐車するケースが散見される。周回道路混雑緩和の観点で、有料駐車場の30分間無料化を要請する。【変更】

④ 下地島空港滑走路老朽化補修について

安全上の観点から下地島空港滑走路老朽化補修について要請する。【変更】

⑤ 下地島空港新ターミナル国際旅客動線について

現在下地島空港新ターミナルでは、国内旅客も国際旅客も同

一の保安検査場を通過しているが、航空保安の観点また利用者の利便性の観点から、国内旅客と国際旅客の保安検査動線を分けることを要請する。【継続】

⑥ 下地島空港まで主要幹線道路景観保全について

伊良部大橋から下地島空港までの主要幹線道路の景観が悪く、また道路アスファルトも割れていることから保全・改修を要請する。【継続】

⑦ 新石垣空港周辺の地盤整備について

新石垣空港周回道路が荒れていることから保全・改修を要請する。また国道390号線などの空港まで主要幹線道路で大雨時冠水が発生することから、安全性確保の観点から冠水対策を要請する。【新規】

⑧ 離島空港のテナント充実について

利用者・従業員の利便性向上のため、コンビニなど県内各離島空港内のテナントの充実を要請する。【新規】

5. 観光振興に関する要求について

① 県内公共バスへの交通系ICの導入について

県外からの観光客利便性向上の観点から、県内交通手段に全国共通交通系ICとの連携について検討いただきたい。【新規】

② 観光地でのゴミ箱の設置について

景観保全の観点から、県内主要観光地にゴミ箱の設置を要請する。【継続】

③ 観光人材育成センター内に航空業界職種の紹介

沖縄観光コンベンションビューロー内の観光人材紹介センターに航空業界の仕事を紹介頂き、航空産業の人材確保に協力頂きたい。【継続】

④ Free Wi-Fi環境の拡充について

観光者の利便性向上のため、各市町村や県が提供するFree Wi-Fiを県が提供する「Be.Okinawa Free Wi-Fi」へ統一することを要請する。【新規】

⑤ ゆいレールSuicaのチャージについて

Suicaの現金チャージが駅窓口並びに空港駅内の乗り越し精算機のみ対応しており、利便性向上・混雑緩和の為に那覇空港出発ロビー内及び各駅の券売機でのチャージをできるようにしていきたい。【新規】

⑥ 県内主要観光地へジェンダートイレの設置

LBGTQの方がより利用しやすい観光地を目指し、主要観光地のジェンダートイレの設置を要請する。【変更】

⑦ 観光目的税の徴収について

導入が検討されている沖縄県宿泊税はドミトリーなど宿泊単価が低い施設も徴収対象となるのか確認したい。【継続】

1. 安全な空港づくり

① クリーンエリアの保安設備改善・機能強化について

クリーンエリアの出発・到着動線は進入禁止のパネルとチェーンのみで区切っており、保安面の設備・機能が脆弱な状態にある。また、到着時のクリーンエリアから手荷物受取所に入る自動扉には逆流防止の保安監視員が配置されていないため、各航空会社が従業員を保安監視員として配置している。空港において最も重要な保安・安全のリスクを最小限にするためにも、クリーンエリアの保安設備の改善、ならびに保安機能の強化をお願いしたい。【新規】



② 災害発生時の避難経路について

災害発生時の避難場所は旅客ターミナルビル送迎デッキが設定されている。送迎デッキの3階に上る階段は避難経路に設定されているが、二人分程の幅しかなく、有事の際の避難経路としては二次災害を招く危険性があり、避難に際しての時間も要することが推測される。南海トラフ地震発生リスクに備えて、人命の安全性を守る観点から避難経路の3階に上る階段の改修をお願いしたい。【新規】



③ 第1立体駐車場と旅客ターミナル間の動線について

第1立体駐車場から旅客ターミナルの動線は横断歩道のみである。車両通行が多い中で信号機の設置はなく、夜間には街灯がないため車からの視認性が悪い。歩行者と車の事故につながる危険性が潜んでいる。お客様の安全性・利便性向上の観点から旅客ターミナル2階と立体駐車場を繋ぐ連絡橋の設置、または信号機・街灯の設置をお願いしたい。【新規】



2. お客様の利便性・快適性向上

① エスカレーター・エレベーターのユニバーサルデザイン化について

旅客ターミナル内のエスカレーターは3本設置されているが、いずれも上りのみの設定であり、下りがないことにお客様からご意見を度々頂戴している。エレベーターに関しては4基設置されているが、そのうち3基は旅客動線から認識しづらい位置にあり、いずれのエレベーターもストレッチャー対応可能なスペースがない。ストレッチャー利用のお客様で上体起こし不可の場合は、ストレッチャーを複数の係員で持ち上げて案内せざるを得ない状況にある。お客様の利便性・快適性向上の観点からエスカレーターの下り設定、ならびにストレッチャー対応可能なエレベーターの改修、または新設をお願いしたい。【新規】



② PBB(旅客搭乗橋)と固定橋のエアコン設置について

お客様が搭乗時に滞留しやすいPBBと固定橋は季節によって高温・寒冷状態になるため、お客様の快適性の観点が例年懸念される。お客様が安心して快適にご搭乗頂けるようにPBBに

エアコンを新設、ならびに固定橋にエアコン増設や機能向上をお願いしたい。【新規】

③ DHC8-Q400型機における松山空港 RUNWAY14 RNAVアプローチの導入について

DHC8-Q400型機はRNAVアプローチ(広域航法進入)が可能であるが、松山空港RUNWAY14においては設定されていない。夜間の着陸の際は視認性が悪く、ビジュアルアプローチ(視認進入)ではなくILSアプローチ(計器着陸装置進入)を行う場合があり、通常のビジュアルアプローチより着陸までに時間を要する。RNAVアプローチによる経路を設定することで通常のビジュアルアプローチと所要時間に大差なく着陸可能となる。お客様の安全性、ならびに定時性向上にも繋がる観点からRNAVアプローチ導入の検討をお願いしたい。【新規】

④ 空港アクセスバスの案内表示看板の改善について

空港リムジンバスや路線バス時刻表の看板表記がわかりづらいとお客様からお声を頂戴している。停車する駅が不明瞭で、愛媛県民も利用に迷うことがある。県外訪問者や訪日外国人のお客様でもわかりやすい表記にむけ、英語や韓国語に対応したデジタル式案内表示板の設置、または行先・停留所が明瞭な案内表示看板の設置をお願いしたい。【新規】



⑤ 旅客ターミナルビルの開館時間案内について

早朝の開館前にターミナル玄関口にてお待ちされているお客様を度々拝見する。また、ホームページに掲載されている開館時間表示の視認性が不足している点やターミナル玄関口に開館時間の表示がない点からお客様への認知が不足している。ホームページの表示方法変更やターミナル玄関口に開館時間を表記するなどの改善をお願いしたい。【新規】

⑥ 案内放送設備の改善について

旅客ターミナル内の案内放送設備は空港ビルと各航空会社の共同仕様であり、自動・肉声放送ともに同一の案内放送設備で運用している。そのため出発便が重複している時間帯は各航空会社のアナウンスが集中し、やむを得ず案内を口頭で対応する場合やお客様がアナウンスを聞き取れずご意見を頂戴する事象が発生している。また案内放送機器も老朽化が進んでおり、一時的不具合や機器故障が度々発生している。お客様に必要な情報が伝わる環境を整えていただきたい観点から案内放送設備の改修をお願いしたい。【新規】

3. 従業員が働きやすい空港づくり

① 従業員専用の駐車場設置について

空港従業員の中には空港利用客と共用の第3駐車場を従業員

駐車場として利用している。共用のため、多客期には従業員の駐車スペースが不足し、CAB管理の駐車場やタクシー待機場所などを借用して対応している。従業員が安心して自動車通勤できるように従業員専用の駐車場確保、ならびに設置をお願いしたい。【新規】

4. 新しい空港づくり

① 搭乗待合室への授乳室・多目的スペースの設置について

搭乗待合室にはトイレが2カ所あるが、いずれも授乳室は設置されていない。授乳室は2階出口ロビーに1カ所のみで、お客様や育児をしている従業員からも不便さや不満のお声を頂戴している。また、搭乗待合室に子どもや家族連れが搭乗まで過ごす多目的スペースがなく、売店や飲食店も乏しい。お客様から搭乗待合室に関するご意見も度々頂戴している。お客様の利便性・快適性向上の観点から搭乗待合室の拡張、ならびに授乳室・多目的スペースの設置を検討いただきたい。【新規】

② 保安検査場レーンの増設について

保安検査場の混雑については、お客様からご意見を非常に多く頂戴している。昨年1本増設され保安検査場は4レーンになったが、それでも各航空会社の出発便が重複する時間帯は非常に混雑し、番台外の出発ロビーに保安検査待ちのお客様が滞留する状態が発生している。また優先・従業員用レーンもないため、多頻度のお客様からは優先レーンの設置要望や混雑に対するご意見を多く頂戴している。搭乗者数の需要と比較して保安検査場のレーン本数が不足しているため、保安検査場の拡張を検討いただきたい。【新規】

③ 手荷物返却ターンテーブルの増設について

手荷物返却ターンテーブルは各航空会社共用で2台設置されているが、到着便が重複する時間帯は返却台に限りがあるため、手荷物返却までのお待たせ時間が長くなってしまっている。また将来の空港拡張を見据え就航便数が増加すると、さらに状況は悪化すると考えられる。お客様の到着から手荷物受取までのお待たせ時間を削減するために、手荷物返却ターンテーブルの増設を検討いただきたい。【新規】

④ 送迎デッキの利用環境の整備について

週末や多客期の送迎デッキは搭乗者送迎のお客様が多く利用されているが、お客様が寛ぐベンチが少ない。また、設置してあるベンチを含めた送迎デッキ全体の老朽化が進んでおり、お客様の利用頻度や魅力を下げている。出会いと別れの場である空港をお客様が更に利用しやすい環境を目指して送迎デッキの環境整備を検討いただきたい。【新規】

